

町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字元柏 大野原

2. 社 名 等 八 幡 宮

3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外1体

4. 創 建 年 代

5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	3 3 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	cm	巾	cm
(4) ひ ざ 張 り	高	1 7 cm	巾	1 5 cm
(5) 台 座	高	4 cm	巾	1 3 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 ⑩ 可

その他参考事項

創建及び例祭については定かでない。

その他 慈光山正宝寺観音堂に合祀されている

石仏、40番41番が祀られてある。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字柏 戈原

2. 社 名 等 観 音 堂

3. 種別、祭神及び仏像名 不動明王 外4体

4. 創 建 年 代

5. 形 状 立 像

(1) 全 高	高	7 3 cm	厚	3 2 cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	5 1 cm	巾	cm
(4) ひ ざ 張 り	高	1 4 cm	巾	9 cm
(5) 台 座	高	1 0 cm	巾	3 1 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 ◎ 可

その他参考事項

創建及び例祭その他由来等については定かでない。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字二瀬本 丸尾野

2. 社 名 等 地藏菩薩堂

3. 種別、祭神及び仏像名 地藏菩薩像 外2体

4. 創 建 年 代

5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	9 0 cm	厚	4 0 cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	5 5 cm	巾	cm
(4) ひ ざ 張 り	高	1 2 cm	巾	2 0 cm
(5) 台 座	高	2 5 cm	巾	2 5 cm
(6) 持 も の		1 5		4 0 cm

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 明らかでないが境内に在る供養塔に天保
12年（1841）と銘されていることか
ら、それ以前に創建されたものであろう。
祭礼 例年12月15日、供養がなされる。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字二瀬本 坂之上
2. 社 名 等 八 幡 宮
3. 種別、祭神及び仏像名 八幡大神外菩薩像
4. 創 建 年 代 不 明
5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	4 3 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	2 9 cm	巾	cm
(4) ひ ざ 張 り	高	cm	巾	1 5 ⁸ cm
(5) 台 座	高	1 5 _{1 7} cm	巾	2 4 _{3 0} cm
(6) 持 も の				
現在の状況	優	良	可	

その他参考事項

創建、祭礼等については定かでない。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字二瀬本丸尾野 1 3 0 3 番地丸尾野

2. 社 名 等 熊野座神社

3. 種別、祭神及び仏像名 熊野座速玉尊

4. 創 建 年 代

5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	cm	巾	cm
(4) ひ ざ 張 り	高	cm	巾	cm
(5) 台 座	高	cm	巾	cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 不明であるが、社殿および殿内の調度品から相当古い創建であることが推察される。

祭礼 昔は旧 1 0 月 1 0 日（現在は新 1 1 月

を發見し、脊中に背負って二瀬本丸尾野に奉祠したと云われている。

由来 古老の言によれば、山津波か何かの地変により御身体が流失したが、高千穂の丸尾野の住人、矢野宗左衛門が川流れの御神体を發見し、脊中に背負って二瀬本丸尾野に奉祠したと云われている。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字柏 溜渕
2. 社 名 等 天 満 宮
3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外3体
4. 創 建 年 代 天保7年
5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	3 5 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	2 5 cm	巾	cm
(4) ひ ざ 張 り	高	3 0 cm	巾	2 0 cm
(5) 台 座	高	1 0 cm	巾	3 0 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 ㊦ 可

その他参考事項

創建 天保7年（1836）◆9月28日

例祭 例年9月28日不動様の祭りと合せて組
内の者相集りお祭りをする。

由来 不動明王、清正公が安置され境内に足手
荒神も祀られている。宝篋印塔石塔があり
数百年を経た樫の巨木が歴史を偲ばせる。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字柏字溜渕

2. 社 名 等 観 音 堂

3. 種別、祭神及び仏像名 馬 頭 観 音

4. 創 建 年 代 天保12年

5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	3 5 cm	厚	2 8 cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	3 0 cm	巾	cm
(4) ひ ざ 張 り	高	2 4 cm	巾	2 4 cm
(5) 台 座	高	2 5 cm	巾	2 5 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 ㊦ 可

その他参考事項

創建 天保12年6月吉日

例祭 9月28日不動様の祭りと合せて公民館

に村中集まり供養を行う。

その他 由来については定かでない。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字柏 溜渕

2. 社 名 等 薬 師 堂

3. 種別、祭神及び仏像名 薬師如来像 外

4. 創 建 年 代

5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	5 6 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	3 0 cm	巾	cm
(4) ひ ざ 張 り	高	2 0 cm	巾	2 5 cm
(5) 台 座	高	1 3 cm	巾	3 5 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 明らかでない。

例祭 3月21日と7月21日に座前の家がに

ぎり飯と煮メの接待をする。9月28日に

は、不動様の祭りと合せて行なう。

その他 由来等については定かでない。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字橘 椎屋
2. 社 名 等 慈眼山 釈迦堂
3. 種別、祭神及び仏像名 薬師如来像外 5 体
4. 創 建 年 代 寛政 8 年 (1 7 9 7)
5. 形 状 立 像

(1) 全 高	高	1 0 0 cm	厚	3 5 cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	5 8 cm	巾	cm
(4) ひ ざ 張 り	高	1 0 cm	巾	1 2 cm
(5) 台 座	高	2 0 cm	巾	2 5 cm
(6) 持 も の	錫杖			
現在の状況	優	㊦	可	

その他参考事項

創建 寛政 8 年 (1 7 9 7)

例祭 不明

その他 此処には以前に寺があったと伝えられ、ここにあった阿弥陀如来像は八木の円龍山永寿寺に移されている。境内に数百年以上経たタブの木がある。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字橋 桃山
2. 社 名 等 桃山 阿蘇神社
3. 種別、祭神及び仏像名 阿彌陀如来像 外 18 体
4. 創 建 年 代
5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	8 2 cm	厚	3 3 cm
(2) 台座～光背	高	5 5 cm	巾	1 0 cm
(3) 足もと～頭長	高	5 2 cm	巾	3 3 cm
(4) ひ ざ 張 り	高	cm	巾	cm
(5) 台 座	高	7 6 cm 1 1	巾	1 4 8 cm 3 0
(6) 持 も の				

現在の状況 優 ㊦ 可

その他参考事項

創建 定かでないが社に享祿4年（1531）

藤原治秀銘の鰐口が有る。

その他 境内に櫨イチョウの巨木があることから、由緒ある社であったことが推測される。



町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字橋 下山

2. 社名等 不動堂

3. 種別、祭神及び仏像名 不動明王 外2体

4. 創建年代 文化13年

5. 形状 立像

(1) 全高	高	8 7 cm	厚	2 4 cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	4 8 cm	巾	cm
(4) ひざ張り	高	1 3 cm	巾	1 0 cm
(5) 台座	高	9 4 4 5.5 cm	巾	1 0 2 2 2 2 2 5 cm

(6) 持ものの

現在の状況 優 ④ 可

その他参考事項

創建 文化13年（1817）細川越中 代長 狩野某とあ
る。

例祭 3月21日～9月21日の春秋2回組内集まりで祭礼
を行っている。

その他 薬師堂に合祀されている。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字橘 下山
2. 社 名 等 薬 師 堂
3. 種別、祭神及び仏像名 薬師如来像 外 1 2 体
4. 創 建 年 代 文化 1 3 年
5. 形 状 立 像

(1) 全 高	高	1 3 0 cm	厚	3 2 cm
(2) 台座～光背	高	9 4 cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	cm	巾	cm
(4) ひ ざ 張 り	高	2 0 cm	巾	2 3 cm
(5) 台 座	高	2 4 cm	巾	cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 文化 1 3 年（1 8 1 7）

例祭 春秋の彼岸の中日に村内集まりて供養をする。

その他 母親の乳の出がなかったり、少ない人達が甘粥を供
えると乳の出が良くなるとの言い伝へがあり、昔はそ
のため参拝の人が多かったという。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字長谷 倉木山

2. 社 名 等 公民館（大師堂）

3. 種別、祭神及び仏像名 弘法大師像 外8体

4. 創 建 年 代

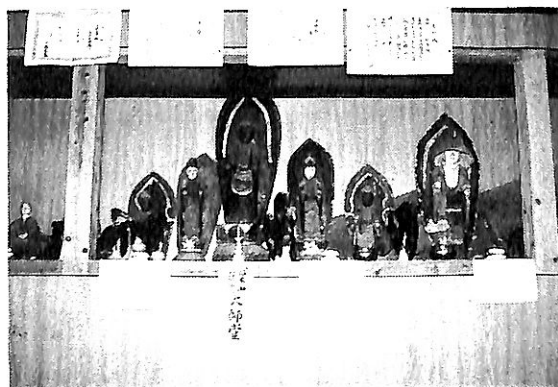
5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	4 7 cm	厚	2 2 cm
(2) 台座～光背	高	5 0 cm	巾	2 2 cm
(3) 足もと～頭長	高	2 3 cm	巾	1 0 cm
(4) ひ ざ 張 り	高	cm	巾	cm
(5) 台 座	高	3 cm	巾	1 5 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

薬師如来、弘法大師、その他天満宮が合祀されているが、創建、例祭については明らかでない。



町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字倉木山

2. 社名等 清正公

3. 種別、祭神及び仏像名 清正公像

4. 創建年代

5. 形状 座像

(1) 全高	高	45 cm	厚	30 cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	cm	巾	cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台座	高	cm	巾	cm
(6) 持もの				

現在の状況 優良可

その他参考事項

公民館内に奉祀されている。

創建等については定かでない。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字玉目 玉目

2. 社 名 等 釈迦堂

3. 種別、祭神及び仏像名 釈迦如来像 外3体

4. 創 建 年 代

5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	6 4 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	6 4 cm	巾	cm
(4) ひ ざ 張 り	高	3 2 cm	巾	4 0 cm
(5) 台 座	高	2 5 cm	巾	5 0 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 ㊦ 可

その他参考事項

天文年間（1543頃）討死にしたと伝えられる玉目丹後の守の墓所の近くに釈迦如来像外3体の仏像が合祀されている。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字長谷 稲生

2. 社 名 等 如 来 堂

3. 種別、祭神及び仏像名 阿彌陀如来像 外6体

4. 創 建 年 代

5. 形 状 立 像

(1) 全 高	高	4 0 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	5 0 cm	巾	1 7 cm
(3) 足もと～頭長	高	4 0 cm	巾	1 3 cm
(4) ひ ざ 張 り	高	cm	巾	cm
(5) 台 座	高	1 5 cm	巾	1 8 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 ◎ 可

その他参考事項

阿弥陀如来外、薬師如来、脇侍が合祀され、
脇侍の裏書きに「奉彩色村中安全 靱尾邑祈」
と記されているが年代不明（読みとれない）。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字長谷 日細
2. 社 名 等 天 満 宮
3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公
4. 創 建 年 代 天保15年辰9月（1844）
5. 形 状

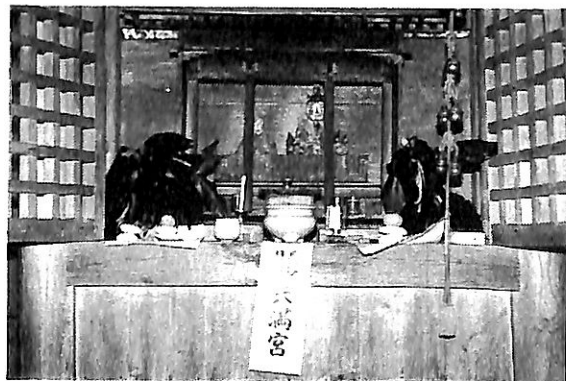
(1) 全 高	高	cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	33 cm	巾	20 cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台 座	高	cm	巾	cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 天保15年（1844）辰9月作之とある。

その他 鳥居に長濱神社と額に掲げてある。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字長谷 伊勢

2. 社 名 等 天 満 宮

3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外2体

4. 創 建 年 代

5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	2 6 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	2 3 cm	巾	cm
(4) ひ ざ 張 り	高	1 8 cm	巾	1 2 cm
(5) 台 座	高	3 cm	巾	1 5 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

旅草の村はずれの道端に祀ってある。

現在約1m四方の石造りの部屋に安置してあるが、状況から考えると昔し此处にお堂があったものと推察される。



町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字長谷 旅草

2. 社名等 薬師堂

3. 種別、祭神及び仏像名 薬師如来像 外3体

4. 創建年代 享保年間

5. 形状 立像

(1) 全高	高	62 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	23 cm	巾	9 cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台座	高	8 cm	巾	20 cm
(6) 持もの				

現在の状況 ㊦ 良 可

その他参考事項

創建は定かでないが、寺内に奉納されている石灯籠に享保14年(1729)同18年(1733)に栗屋左衛門真昌・安政7年(1860)高尾野井上角助入道寄進と記されており、里人の信仰厚い堂である。



町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字高辻 前353番
2. 社名等 如来堂
3. 種別、祭神及び仏像名 阿彌陀如来像
4. 創建年代 大永年間
5. 形状 立像

(1) 全高	高	65 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	86 cm	巾	25 cm
(3) 足もと～頭長	高	65 cm	巾	20 cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台座	高	20 cm	巾	30 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

天正年間東照山東光寺が焼失、後、文久年間に東照山東光寺が再建され、阿彌陀如来を祀ったものと云われ、境内に大永7年作の釈迦三尊の立像板碑がある。

